

2021年 自己評価結果

1、本園の教育目標

- 少人数で、きめ細やかな保育をおこなうことで、自信を持った心豊かなこどもに育つことを目指す。
- 遊びの中で異年齢児や先生との関わりを通して人生の基礎となるコミュニケーション能力が身につくことを目指す。

2、今年度、重点的に取り組む目標

コロナウイルスの流行を前提として、その中でどれだけ以前の保育の質を維持できるか常に検討を迫られるのが常態化しているが、柔軟に最善の道を探っていく。

3、評価項目の達成および取り組み状況

評価項目	取り組み状況
一人一人のこどもを援助するため全教職員が共通理解を持ち関わる。	保護者と連携を軸に、教職員間で一人ひとりのこどもについて日々話し合いを行い、理解を深められている。
教育の質を向上させるため、研究保育等を充実させる。	園内研修後、子ども主体の保育にする為の改善点を話し合い、保育に活かした。
保育内容や行事の見直しを行い改善に努める。	子どもが主体の保育となるよう、改善を行っている。
コロナウイルスの影響、対処	コロナウイルスの影響により、感染防止対策を行ったうえで、子どもの成長を、妨げ無いよう工夫し保育活動を行った。
預かり保育の充実	夏季休暇中の預かり保育回数を増加させた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年間行事の詳細について前年から個別に見直しを行った結果、負担が軽減され、保育の充実につながった。
今後も引き続き改革に努める。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	コロナウイルスの感染状況を考慮し、マスクの着用、遊具の消毒を継続し行う。
預かり保育	預かり保育の必要性が高まっている為、預かり保育の充実が行えるよう環境を整える。
保育の質の向上	今までの前例に囚われることなく、子ども主体の保育になるよう、継続し改善に努める。

6、学校関係者の評価

評価完了次第掲載する。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されているとみとめられている。